



平成30年度 前期が終了します

明日、平成30年度前期が終了し、終業式を迎えます。4月から授業を行った日数は99日間です。5年生は8月に臨海学校があったので、102日間になります。4月からの6ヶ月間に子どもたちは大きく成長しました。その成長の一端は、過日の第25回運動会でも感じ取っていただけたことと思います。子どもたちに渡される通知票には、この半年間の一人一人の具体的な成長やがんばりが成果となって表れたこと、今後の成長に向けて期待したいこと、担任の願いなどが記載されています。保護者の皆様からも、ぜひお子さんのがんばりや成長を温かく認め、励ましの言葉をかけてあげてください。



なお、10月11日（木）から後期開始です。後期も引き続き温かいご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

【通知票の見方について】

「学校と家庭は車の両輪」とは、よく言われることですが、この両者が手を取り合っ、密接な連絡をしながら子どもの教育にあたらなければ、教育効果はあがるものではありません。そこで、学校や学年・学級から、いろいろな通信や連絡を出しています。是非、その内容を十分ご理解いただき、ご協力いただきたいと思います。

その学校から家庭へお送りする資料の一つに「通知票」があります。通知票は、学期ごとに、子どもの成長の様子をご家庭に連絡するものの一つです。この通知票から、子どもの成長の様子をとらえていただき、個性や能力の発見に努め、よりよく育てるために活用して欲しいと思います。

★通知票は、子どもの成長の様子を次の5つの内容に分けて記載しています。

- *各教科・総合的な学習の時間（3年生以上）・外国語活動（1・2年生）・英語活動（3年生以上）・道徳
- *行動のめあて〔主な観点から行動の様子〕
- *出欠のようす（学期ごとの出欠席状況）
- *特別活動等の記録〔所属している学級の係、クラブ（4年生以上）、委員会（5・6年生）〕
- *学校から・家庭から〔担任と保護者の通信〕

★通知票の見方

上記の5つの内容は、子どもの成長の足跡で、どれも大切なものです。ある本に次のような一文がありました。

通知票がくると、直ぐ「学習の記録」だけに目を向けて、「5」「4」…がいくつあるとか、「A」…がいくつあるとか、その数の増減にとらわれて、「あがった」とか、「さがった」とか考える親が多い。間違った見方をしたり、興奮してみたりして、子どもに嫌な思いをさせる親が多い。

確かに「学習の記録」に目がいきがちですが、今回は、次のような見方をしてみたらどうでしょうか。お子さんに最初にかける言葉が違って来るかもしれません。一度試してみてください。

（裏へつづく）

★次の順で見たらどうでしょうか。

1. まず、「出欠のようす」をみて、前期、健康で元気に通学できたかどうか、確認してみましょう。
2. 次に「特別活動の記録」をみて、係や委員会で学級や学校のために骨をおった様子、クラブなどでの楽しかったことや苦労話を聞き、頑張りを褒めてやりましょう。
3. さらに、「行動のめあて」をみて、良いところ、改めたいところ話し合ってみたらどうでしょうか。
4. そして、「各教科・総合的な時間・外国語活動や英語活動・道徳」をみて、前期の学習の仕方や 努力の様子などについて話し合ったらどうでしょうか。
5. 最後に、「学校から」の欄をみて、担任からの感想や意見・希望を読み取り、これからの方向を話し合ったらどうでしょうか。
6. その話し合いの中で、「家庭では今後、こうしていきたい」という考えがまとまるだろうと思いますので、その「家庭の考え」を『家庭から』の欄にお書き下さい。なお、この欄は、子どもに向けて書くものではありません。あくまでも、保護者の立場で、担任あてに「今後の親の取り組み」を書く欄です。書いたら、必ず子どもに見せて、「親としての考え」を子どもにしっかり分からせてください。

☆通知表の目的は子どものやる気を高めることです。通知表を見て、いきなり「なんなの?!この成績は!!」なんて言われたら、やる気をだすどころか逆に気持ちは萎えてしまいます。「どうせできないし」とか、自己評価を下げてしまう原因にもなりかねません。通知表を見たら、まずは良いところを見つけて褒めてあげることから始めましょう。『やればできるんだ』という自信を持たせてあげることが、何より大切です。



☆褒めることは大事ですが、でもそればかりでは進展しません。もう少し頑張ってもらいたいところはしっかり伝えておきましょう。「ここをもう少し頑張れば、得意な国語がもっと楽しくなるよ!」「がんばろうになっているところは、どうすれば良くなると思う?」などと、改善できそうなところをどうすればいいか、子供と一緒に考えてみるといいですね。子どもが、自ら解決策を導き出せるようになるのが最終目標。決して、〇〇しなさい!と、押し付けにならないように注意しましょう。また、褒めることより改善点の指摘の方が多くならないようにも気をつけてほしいです。

☆終わる時は「よくできました!次もがんばりましょう!」と、前向きな言葉で終わるようにしましょう。当然だけど、通知表だけで子どものすべてを評価することはできません。通知表はあくまで学校での子どもの様子を知る、1つの目安でしかないということを忘れないでおいってください。

☆評価が悪かったからと言って落ち込んだり、子どもを叱ったりする必要はありません。それよりも、その評価をどう今後につなげていくかが大事なポイントです。良いところは今以上に、足りないところはよりいっそう、伸ばしてあげられるような声かけをしていってください。

○ふるさとまつり・花火大会絵画コンクール特別優秀賞受賞者

花火大会実行委員長賞 正田 紗愛 (3年)
玉村町交番所長賞 山越 彩夢 (4年)

※ 特別優秀賞(10点)並びに優秀作品(50点)は、11月6日(火)~11月18日(日)の期間、玉村町文化センター(ギャラリー)に展示されますので是非ご覧になってください。



○玉村町教育委員会表彰受賞者 (第15回文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦全国大会出場)

家上 紘弥 (5年)・市村 孝太郎 (5年)・田島 こはる (6年)